

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】岸和田市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
24	2008.3.31			大阪府	岸和田市	201,000	72.24
構想の要約		本市においては、「新エネルギーで地球にやさしいまちづくり」を基本理念として新エネルギー事業を推進しており、今後、バイオマス発電、BDFなどのエネルギー利用や、賦存量の多い竹資源を活用したマテリアル利用を積極的に進め、自然環境の保全・回復を行うとともに、低炭素社会の構築を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		①木質系 バイオマス発電建設 チップ・ペレット施設建設 ボイラーストープ設置 ②竹 マテリアル施設建設 エタノール製造計画 ③エネルギー BDF施設建設 メタン発酵施設計画					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○		資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○			
廃食用油	○	果樹剪定枝				
水産加工残さ		竹材	○			
製材工場等残材	○	その他( )				
建設発生木材	○					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○					
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など						
その他( )						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(化学原料)	○	炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他( )	

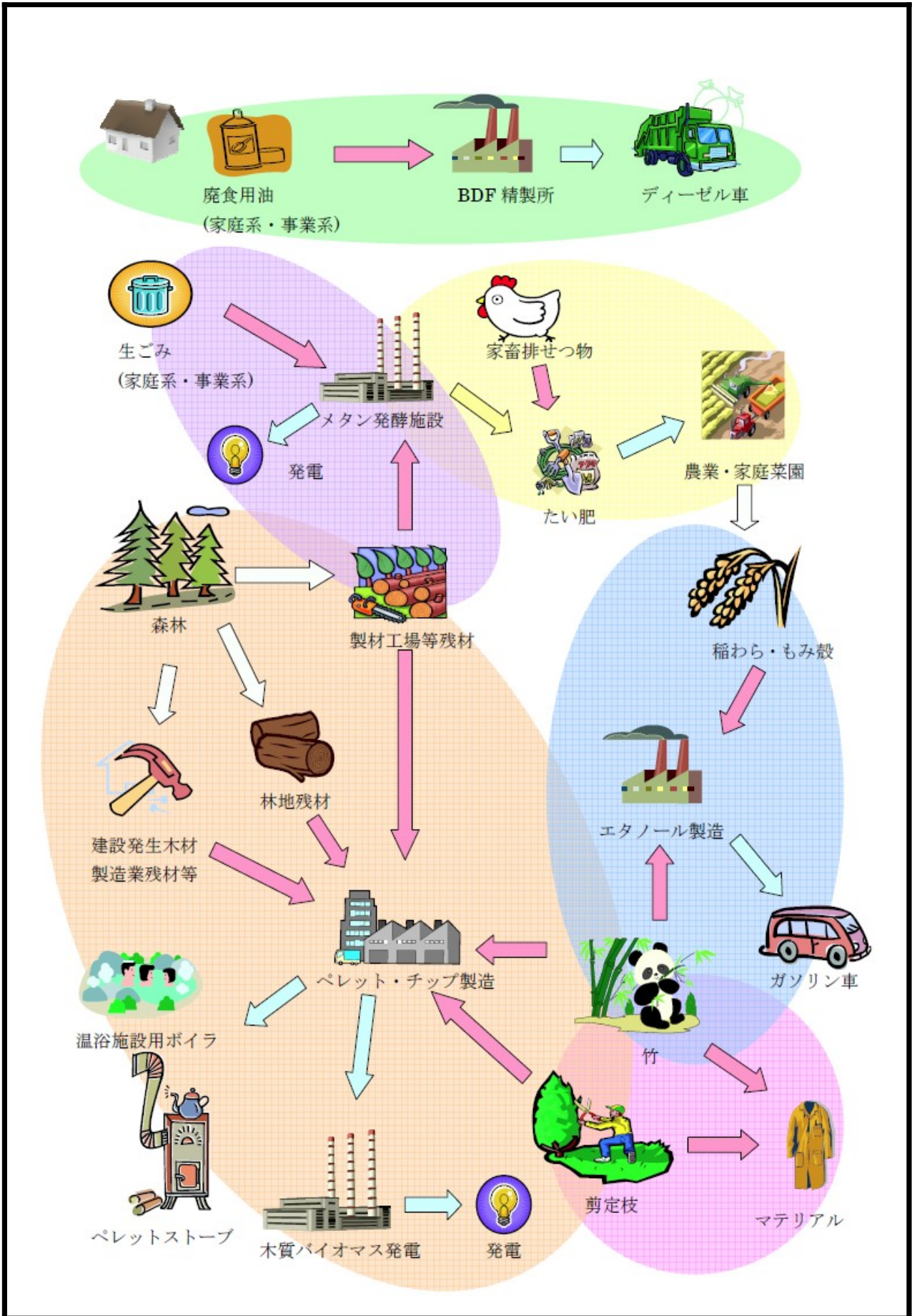
バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	現在		目標		
	賦存量(t)	利用率(%)	仕向量(t)	変換・利用方法	利用率(%)
廃棄物系バイオマス		66.2			91.6
生ごみ	15,775	4.2	7,888	発電等	50.0
廃食用油	633	3.2	76	燃料利用	12.0
建設発生木材	3,403	0.4	3,403	発電等	100.0
製造業残材	2,626	0.0	2,626	発電等	100.0
製材工場残材	42,931	92.6	40,784	燃料利用	95.0
家畜排せつ物	2,190	100.0	2,190	たい肥化	100.0
剪定枝	754	16.7	754	燃料利用	100.0
未利用バイオマス		0.0			54.3
林地残材	2,156	0.0	1,078	発電等	50.0
稲わら・もみ殻	1,428	0.0	428	飼料・燃料	30.0
竹	11,786	0.0	7,071	化学原料・燃料	60.0

バイオマスタウン構想概要図  
 (バイオマスタウン構想書からコピー)



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)